

ひなぐっ子の家庭学習

家庭学習のための5つのポイント

- 決まった時刻に、決まった場所で学習しよう。(始める時刻と場所を決める)
- 集中して学習する。(テレビを見ながら等の「ながら勉強」はしない)
- 用具をきちんとそろえてから始める。(学習する場所を整理整頓する)
- 次の日の準備を確認してから終わる。(準備物や宿題等の提出物を確認する)
- 生活リズムを守る。(早寝・早起き・朝ご飯)

保護者の方へのお願い

- 家庭では、勉強しやすい環境づくりを心がけましょう。
- 学校と連絡を取り合しましょう。(連絡や通信)
- 児童生徒の学習への関心を高めましょう。
- 子どもへの声かけや励ましをしましょう。
- 将来の夢や目標について語り合しましょう。



段階	前期				中期			後期	
学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学びの重点	きめ細やかな指導・支援で、学びと育ちの基礎を培う。				自分の「めあて」に向かう自主性を育成し、学力と個性・能力の伸長を図る。			自主学習の習慣を身に付け、学力と個性・能力の一層の伸長を図る。	
家庭学習における望ましい姿	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日、家に帰ったら、決めた時刻に決めた時間、勉強する。 ○学校で習ったことをもう一度復習し、より正しく覚えることができる。 ○一人勉強に挑戦する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人勉強の仕方や内容を知り、自分で調べたり学習したりする。 ○ドリルやプリント学習は自分で答え合わせをして、間違いを訂正できる。 ○自分で興味・関心のあることを調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自主的、計画的に一人勉強に取り組むことができる。 ○授業の内容やテスト結果を振り返り、めあてを持って学習することができる。 ○教科のバランスを考えて学習することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を振り返り、計画を立て、実行できる。 ○学習内容の定着や発展のために、自分に合った学習の仕方を考え取り組むことができる。 ○不得意教科の克服に向けて、努力することができる。 ○進路の実現に向けて、自主的に学習することができる。 					
家庭学習	20分以上	30分以上	40分以上	50分以上	60分以上	70分以上	90分以上		
家庭学習の内容の例	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・読書 ・日記 ・国語や算数などのドリル学習 ・漢字学習 (漢字ノート) ・新聞を読む ・俳句作り ・調べ学習 				<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の宿題 ・学年からの宿題 ・読書 ・予習や復習 ・俳句作り ・新聞を読む ・テストに向けた計画的な自主的な学習 				